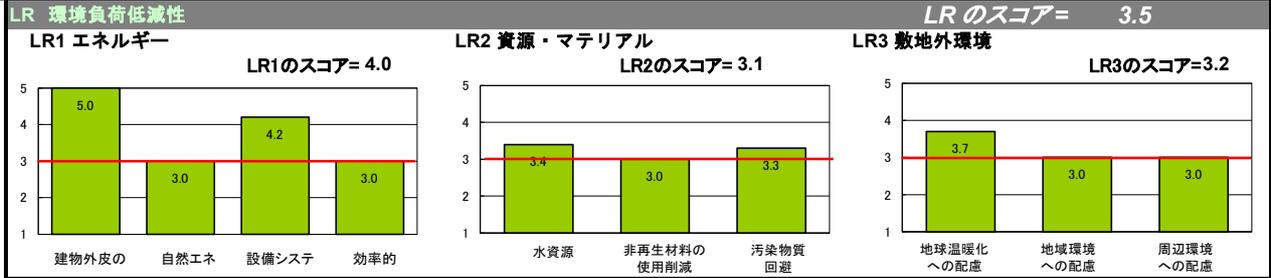
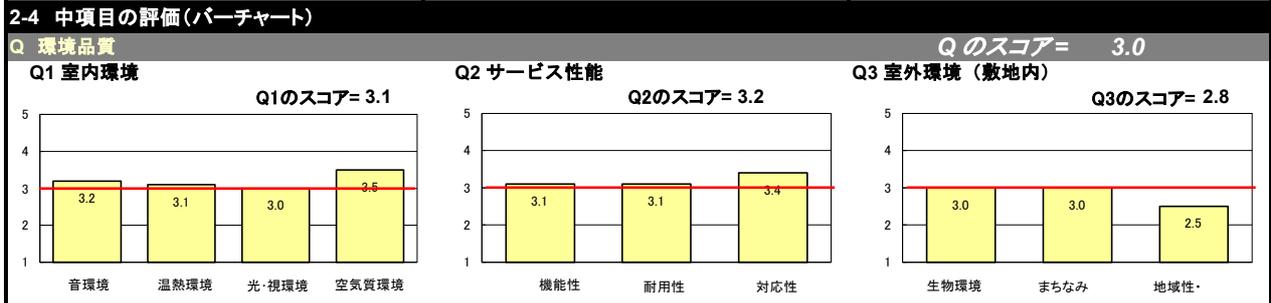
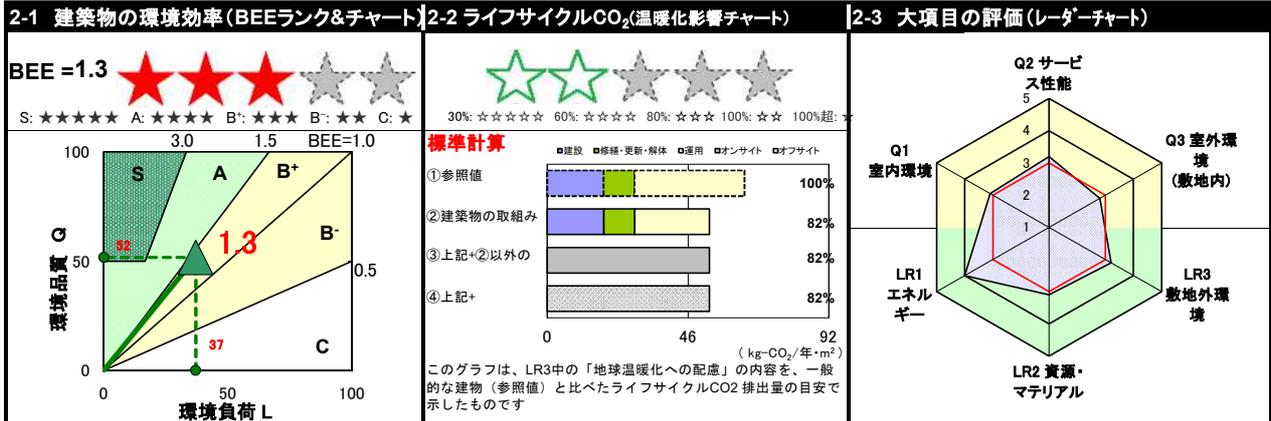
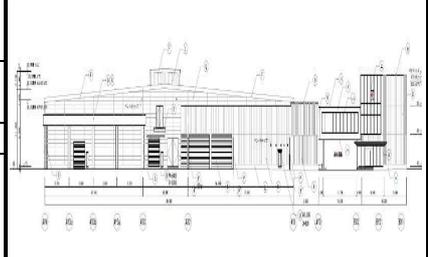


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社創味食品 関東工場新築	階数	3
建設地	埼玉県羽生市	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2024年9月10日
敷地面積	42,750 m ²	作成者	
建築面積	15,035 m ²	確認日	2024年9月26日
延床面積	17,423 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・周囲の環境に配慮した計画とし、維持管理および更新が容易な計画としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・内装材はF☆☆☆☆を採用 ・Low-e複層ガラスの採用	・防汚性の高い建材の採用 ・節水器具の採用 ・ゆとりある階高の確保 (工場棟: 3.9m以上、事務棟3.6m以上)	・敷地外周は緩衝帯として10mの緑地帯を設ける
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮性能を向上させ高効率設備機器を導入することで、エネルギーの削減を行う。	・節水コマの採用 ・ノンフロン断熱材の採用	・十分な駐車場、駐輪場の確保 ・防音壁の設置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社創味食品 関東工場新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.31		-		3.1
1 音環境				3.2	0.15		-		3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音		事務室:タイルカーペット、岩綿吸音板		4.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.1	0.35		-		3.1
2.1 室温制御				3.2	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能		壁、窓の性能による面積加重レベル:4.0		4.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.0	0.25		-		3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-		
1 昼光率				3.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.5	0.25		-		3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		建物全体にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		3.2
1 機能性				3.1	0.40		-		3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		天高2.7m以上		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30		-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		壁、天井、床の仕上材の耐用年数は11年以上		4.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:VA・・・B 排水:硬質塩化ビニル管・・・B 通気管:耐火二層		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.2	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		設備耐震クラスAランク		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-		3.4
3.1 空間のゆとり			3.8	0.30		-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.04	5.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性	配線は縦系統はEPS、横系統はケーブルラックによる敷設	5.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性	配線は縦系統はEPS、横系統はケーブルラックによる敷設	5.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39		-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.39		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱、複層ガラスによる熱負荷の抑制 (BPIm:0.59)	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.68	4.2	0.50		-	-	4.2
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価				-		-	-	
4.1	モニタリング			-		-	-	
4.2	運用管理体制			-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓を使用	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と下地材の分別が容易、再利用可能部材(OAフロア)を使用	5.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	断熱材にはノンフロン(A種)を使用	4.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		省エネによる運用時のCO2排出量の低減	3.7	0.33		-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制	搬入車用、工場従業員用、事務所従業員用、来客用、それぞれの駐車スペースを計画する。	4.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	1.00		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制			-		-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	株式会社創味食品 関東工場新築	BEE	1.3	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	2.6	=	6.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上	
				すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.7
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
高効率機器による運用時のCO2排出量の抑制。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
条例を満たす緑化・植栽を行う 中木、ピロティ、バルコニーから形成される日陰により敷地内の温熱環境を緩和する。			

: 入力欄